

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（1月定例会）会議録
開催日時	平成28年1月18日（月）15時00分から17時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、川崎委員、木下委員、 沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野委員 （欠席）原田委員、古家委員、山田委員 事務局：岡本係長、神田主査（傍聴人 1人）
議題	(1) 今後の活動について (2) 社会教育委員研修会について (3) 報告 その他 ①文化財保存・活用計画策定委員会（1/12）の報告
配布資料	配布資料1 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会記録 ○地域の未来づくりの視点から社会教育・生涯学習政策の展開を考える ～学習活動・信頼で結ぶコミュニティづくり～ 【社会教育 No.835】 ○西東京市文化財保存・活用計画(素案)概要 ○第3期西東京市子ども読書活動推進計画(素案)について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○平成27年12月定例会議の会議録について、1か所訂正後承認する。</p> <p>(1) 今後の活動について</p> <p>①交流大会記録の編集作業について</p> <p>○事務局：社連協の1年間の活動のまとめとして、「平成27年度社会教育委員活動記録」を作成する。配布資料1のとおりパネルディスカッションの内容をテープ起こしした。記録集用に編集する必要があるので、1人編集担当を決めて頂きたい。</p> <p>決 定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎委員担当 ・ページ数：12ページ程度 ・締切：2月上旬 <p>②社連協総会について</p> <p>○議長：総会時の研修会の内容は、今週21日の社連協役員会に諮る。次期会長市の八王子市の次年度の統一テーマについては未定だということである。八王子市の意向もあるが、役員会で他から提案等がなければ、本市からも提案をしてよいかと考えている。</p> <p>○委員：「知の循環型の地域学習社会」の知とは何なのか、その辺りわからない部分がどういう事を意識した知の循環なのかについて聞きたい。</p>	

- 委員：この前、どんど焼きのお手伝いをしたが、多くの人が準備からかかわっており、良い活動だと思った。どんど焼きのような取り組みも地域での知の循環だといえるのではないか。
- 委員：最初は小さな団体がやっていた事が地域に広まって、お祭りや伝統行事として継承されていくことも、社会教育の知の循環になると思う。
- 委員：西東京市は健康都市宣言をしており、大人バージョンや子どもバージョンのしゃきしゃき体操が考案され、学校、地域などで盛り上がっている例もある。
- 委員：文化的コモンズという言葉がある。地域にある公共施設や大学のスポーツ施設、下野谷遺跡や伝統的な行事などの地域資源を地域みんなで認識をして、それらを結び付けてまちづくりを考えていきたいと思いますという発想である。西東京市には、こんな人がいて、地域でいろいろなことをやっている、ということ洗い出して、その人たちをどう繋いで地域を作っていくかと発想すると、どんど焼きなどの活動も他とつながって、知の循環という話になるのではないか。
- 委員：平成 23年の6月に社会教育委員の会議から、全員参加の地域づくりを目指して、身近な地域活動から地域を創っていこうという提言が出されたが、その提言内容にもつながることだと思う。
- 委員：社会教育の取組と考えると限られるが、全庁的にみると広義の社会教育の枠組みでいろいろな分野で教育活動が始まっている。その中で、社会教育は、こういうことをしなければいけないといった話を聞きたいと思う。
- 委員：社会教育委員は、その地域の社会教育施策を考えていかなければいけない。地域の動きを社会教育委員がどうやって行政の行う社会教育につなげていくか、その原理がわかってくれば、ほかの地域も同じことが出来るのではないか。
- 委員：平成27年度のテーマを総括であれば、岩崎先生に講師をお願いをしてもいいのではないか。
- 委員：八王子市に繋いでいく内容というなら、再度金藤先生に講師をお願いするのはどうだろうか。交流大会での内容を深めてもらいたい。
- 議長：今回出された意見を21日の役員会に報告したい。講師については、岩崎先生とも相談をして調整したい。

(2) 委員研修について

- 議長：研修会のテーマについて、ご意見をいただきたい。
- 委員：前回、講師候補に挙げた町田市の藺田委員の資料として、「地域の未来づくりの視点から社会教育・生涯学習政策の展開を考える～学習活動・信頼で結ぶコミュニティづくり～」という対談記事が配布された。この中の藺田委員の「劣化した社会を作り直す」という話は興味深い。多彩なバックグラウンドをお持ちの方なので、社会教育にどんな形で関わっておられるのかお聞きしたいと思う。
- 委員：藺田委員は、地域には多くの社会教育的事業があり、活動している人も多いという話をされる。そういう意味では、社会教育行政が直接指導したり、補助金を出したりすることが無ければ社会教育じゃないという見方ではなく、多くの社会教育的な事業が地域で行われていることを理解する必要があるのではないかと思う。
- 委員：藺田委員は、長い年月社会教育に従事されているので、本質をとらえておられると思う。社会教育委員の立場で広がりを持ったお話をして頂き、社会教育の捉え方については、こういう見方もあるよという話を聞いてみたい。

- 委員：この間の関東甲信越静研究大会の分科会で、大学との連携の話が出ていた。西東京市でも早稲田大学、武蔵野大学いろいろな連携をしており、社会教育としても大学との連携によって、地域や若者を育てる仕組みを考えていければと思う。
- 委員：武蔵野大学との関係を言えば、地域福祉や多文化共生といった分野で学生と市民や団体との協働が進んでいると感じている。そういった現状を学長からお話を伺う機会があっても良いかもしれない。
- 委員：地域の中でも虐待等子供を取り巻く様々な困難な状況がある。地域への対応も含め、学校で困っていることをどう支援したらよいか、具体的な対策の話を知りたい。
- 議長：今回出された内容は、これからの我々社会教育委員の会議で勉強していかなければならないことだと思う。今後の定例会の中に勉強会のような時間を組み込んで、調査研究活動として話を聞く機会が設定できればと思う。3月の委員研修については、菌田委員が日程的に可能かどうか事務局に確認をしてもらい、正副議長と事務局で調整し、次回ご報告したい。

(3) 報告 その他

①文化財保存・活用計画策定委員会 (1/12) の報告

○矢野委員より報告

- ・計画の素案が提案され、1月15日からパブリックコメントが行われる。文化財保存・活用計画のポイントは、国史跡に指定された下野谷遺跡の保存活用が大きな部分となっている。それ以外にも西東京市には多くの文化財があるので、それらの再整理も含め、市全体としての計画になる様、調整をしている。パブリックコメントを経て、2月中旬にはまとめることになる。

- 事務局：1月15日号市報で、「西東京市文化財保存・活用計画(素案)」のパブリックコメントの実施について周知された。内容は、情報公開コーナー及びホームページで閲覧できる。「第3期西東京市子ども読書活動推進計画(素案)」についても同様にパブリックコメントが実施される。ご意見があれば、2月12日(金)までにそれぞれ担当課に提出して欲しい。

②委員からの報告

- 委員：1月13日に、放課後子供教室の学習機会の提供事業として、下野谷遺跡の出前授業を実施した。東小の保護者、児童、先生方を参加者として、学芸員から下野谷遺跡について詳しく説明を聞いた。出土品を見て触ることができ、下野谷遺跡への親近感が増したと思う。
- 委員：子供たちの反応はどうだったのか。
- 委員：興味関心が高く、縄文時代はどういう生活をしていたか、どういう道具を使っていたかなどいろいろな質問をしていた。平成28年度には、地域生涯学習事業で、バスを貸し切って地域の方と現地の見学と郷土資料室の見学を実施出来ればと考えている。
- 委員：学校図書館関係者は参加されたのか。
- 委員：教員や学校図書館専門員の方が参加されていた。
- 委員：文化財という実物と書籍資料を絡めた学習支援がされると良いと思う。
- 委員：社会教育関係団体の補助金を交付した西東京ジュニア・ユースオーケストラのク

リスマスコンサートに行ってきた。コンサート開始の1時間前に、チェロとバイオリンの楽器体験を実施しており、小学生低学年の親子などが参加し、行列ができるぐらい盛況だった。3世代で来ている方もおり、こんなにクラシックに関心があるのだと思った。

○議長：今後も各委員から、地域の情報をご報告いただきたいと思う。

○議長：以上で本日の社会教育委員の会議(1月定例会)は終了する。

※次回会議 平成28年2月15日(月)午後2時